



令和5年度 校長室だより 第6号

他者(ひと)のために 一歩先の自分へ



10月2日は「開校記念日」でした

校長 富川 麗子

10月に入り、一年間の折り返し地点となりました。生徒の皆さんは、学校生活や学習においてどのような成果を上げてきたでしょうか。猛烈に暑かった9月までを思うと、とても過ごしやすい季節となってきました。読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、実りの秋と皆さんの学校生活が一層充実することを願うとともに、この折り返し地点で、改めて目標に向かって頑張りたいと思います。失敗を恐れず、常に努力し続けることが重要です。

1 開校記念日

さて、10月2日は本校の開校記念日でした。昭和43年に「愛と創造」を教育目標に掲げ、小平市立第一中学校の仮校舎において、第一回入学式が挙行されました。その後、昭和44年3月に現在の東村山市恩多町に校舎棟・管理棟・体育館が完成しました。

開校にあたり、東村山市に都立高校を設立するという要望が叶い、13名の地主さんが「日本一の芋畑を日本一の教育の場にしてほしい」と提供して下さったと本校の記念誌等に記されています。東村山市に都立高校が出来ることを地域住民の方々がいかに期待して下さったかが伺えます。設立当時の地域の皆様の期待に応えるためにも、社会の発展に貢献できるよう、一人一人が着実に力を付けていくことが大切です。

また、平成21年8月には、東京都教育委員会からエンカレッジスクールの指定を受け、平成22年度から進学応援型エンカレッジスクールとしてスタートし、今年度で14年目を迎えます。令和2年から、新型コロナウイルスの影響により、学校の行事や活動が中止や縮小となるなど、教育活動に制限が多かった3～4年間でしたが、この間に校舎・グラウンドと施設も一新しました。学校見学会や説明会などで本校に来て下さる中学生からは、「校舎がとても綺麗」、「木の温もりが感じられる」、「明るく開放的」、「この学校で学びたい」という声を多く聞きます。中学生や保護者の皆さんは、このような校舎、施設で高校生活を過ごすことを心待ちにしていられるのだなと実感します。

4年後には、東村山高校創立60周年を迎えます。本校のスローガン「他者(ひと)のために、一歩先の自分へ」の願いを日々の教育実践にたくさん込めながら、豊かな心を持ち、進んで社会の発展に貢献できるよう、本校在学の3年間で一歩ずつ成長していきましょう。

2 Sport-Science Promotion Club～ビームライフル部とバドミントン部の活躍～

本校は、東京都教育委員会から「Sport-Science Promotion Club」の指定を受けています。ビームライフル部とバドミントン部は、本事業の趣旨である「科学的トレーニングの積極的な導入等により、短時間で効果が得られるような合理的でかつ効率的・効果的な活動」で、様々な成果をあげています。

ビームライフル部 2年生の志賀 修磨さんは、9月17日(日)に行われた、「令和5年度 東京都高等学校ライフル射撃競技秋季大会」において、第一位の成績をおさめ、11月に行われる関東大会(栃木)出場を決めました。おめでとうございます。志賀さんは、今年の夏には、全国大会(広島)出場、全関東ライフル射撃競技選手権大会に3年生の柴山 響輝さんと出場するなど、大会のたびに成績を伸ばしています。

また、バドミントン部は、9月17日(日)、18日(月)に群馬県で行われた、「令和5年度 第16回群馬県高校生バドミントン研修大会」に参加しました。この大会は、群馬、栃木、埼玉、東京等の令和5年度インターハイ予選ベスト4入賞校を中心とした研修大会となっています。本校のバドミントン部も、この研修大会に参加し、多くの試合を経験してきました。

両部の、今後の益々の活躍を期待しています。

3 JET(英語等指導助手)が着任しました

嬉しいお知らせがあります。新しいJET(英語等指導助手)が着任しました。フィリピンから来日されたマリセル先生。日本に来るのは初めてとのことですが、本日、朝の職員打ち合わせで、とても流暢な日本語で着任の御挨拶をいただきました。

また、早速、英語科教員と共に、生徒達に御指導くださいました。生徒たちの異文化に対する理解が深まること、英語力が向上することを期待しています。よろしくお願いいたします。

